

# その119、



その通報、  
本当に119番  
ですか？



## 本当に**緊急**ですか？

令和7年中に東京消防庁管内で救急搬送された798,412人のうち入院を必要としない軽症者が半数以上を占めています。

### 何でも屋じゃ ありません

タクシーのように行きたい所へ  
お連れできません。  
壊れた水道を直すこともできません。ただ、  
人の命を救いに行くことができます。

それが私たち、  
救急です。



	救急出場件数
令和7年中の件数 (速報値)	東京消防庁 <b>931,817件</b>
	小平市内 <b>12,061件</b>

救急車がひっ迫しています  
救急車の適時・適切な利用に  
ご協力をお願いします!



前編

東京消防庁  
公式YouTubeで  
小平消防署が  
紹介されました!  
ぜひ見てください!!



後編

消防に関するお問合せは、お近くの消防署・出張所へ

- 小平消防署 ..... 小平市仲町21 ☎042-341-0119 FAX 042-345-5393
- 小川出張所 ..... 小平市小川町1-208-1 ☎042-345-0119
- 花小金井出張所 ..... 小平市花小金井6-12-1 ☎042-462-0119



東京消防庁 & 小平消防署のホームページ

東京消防庁ホームページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>

小平消防署ホームページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/fs/kodaira>



# 消防こだいら

令和7年中の災害件数  
(小平市内 速報値)

火災件数	60件(前年比 +17件)
救急件数	12061件(前年比 +184件)
救助件数	348件(前年比 +47件)
危険排除件数	51件(前年比 +3件)
PA連携件数	1597件(前年比 -51件)

※PA連携とは…ポンプ隊と救急隊が連携して行う救急活動のこと。

令和8年3月 第141号

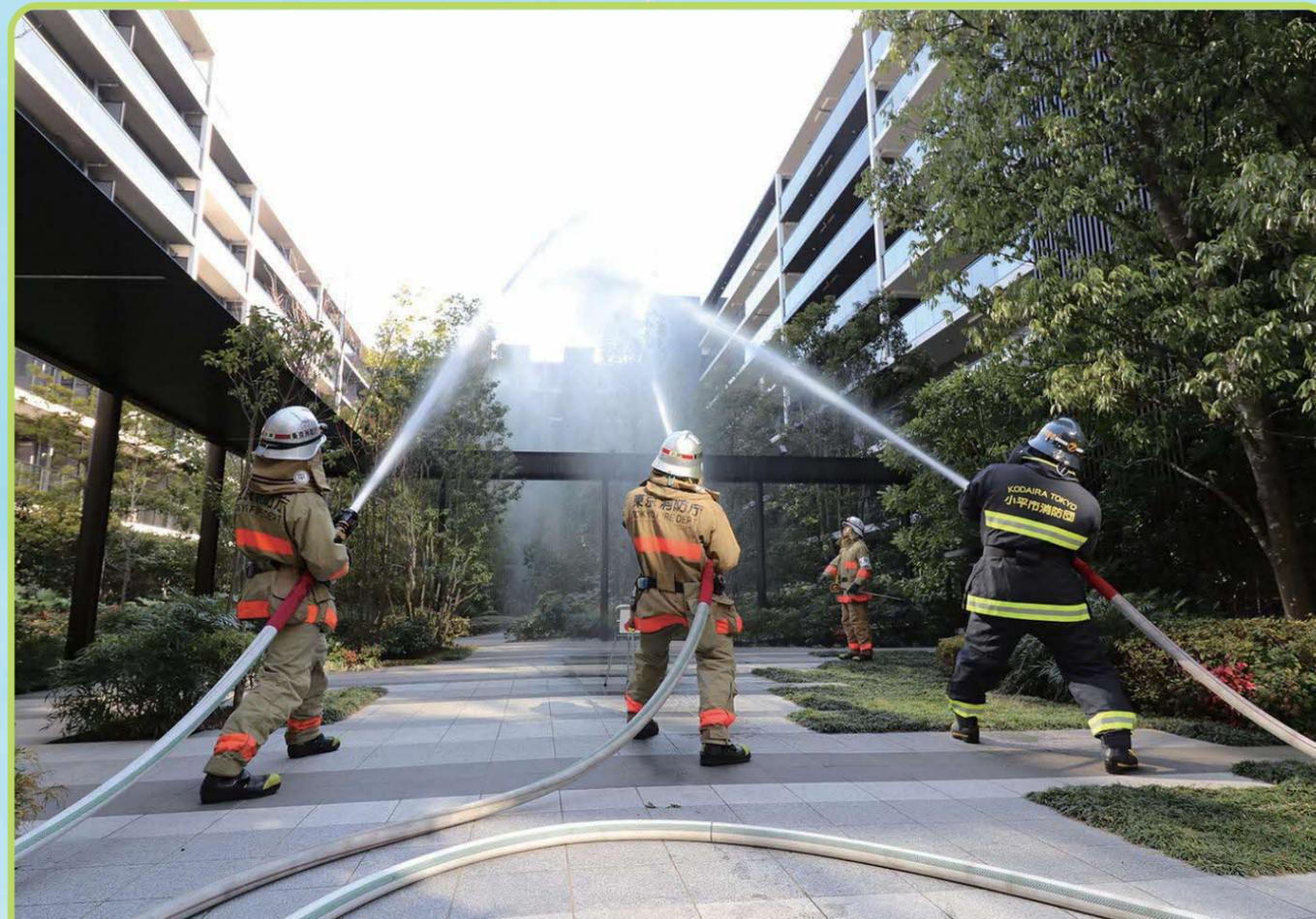
発行 小平防火防災協会  
小平危険物安全協会  
小平防火管理研究会

監修 小平消防署



# 春の火災予防運動

令和8年3月1日(日)~3月7日(土)



## 目で確認 声出し確認 火の用心

作者：岩崎 公瑠美さん(清瀬市在学)  
令和7年度 東京消防庁火災予防標語

# リチウムイオン電池関連火災



## 近年、急増!取扱いに要注意

リチウムイオン電池に起因する火災が、近年急増しています。令和6年中は、115件発生し、令和7年は9月時点で過去最多となっています。  
取扱い方法をよく確認し、異常を感じた場合は、すぐに使用を中止しましょう。

動画はこちら

## ⚠️こんなときは危険!今すぐチェック!

- 熱のこもりやすい場所で使用している
- 膨らみ、変形している
- 過去に落下させたことがある
- 充電中や使用中に発熱することがある
- 充電できないなどの不具合がある

**一つでも当てはまる場合は火災の危険が...!**

## 万が一火災が発生したら

- ①火花や煙が激しく噴出している場合は、**近寄らない**
- ②火花や煙の勢いが収まったら、**大量の水や消火器**で消火する
- ③大量の水で温度を十分に下げ、安全に配慮し、**水没させる**

**Point 1**

大量の水をかける

**Point 2**

水没させる

焦らず、身近なものを使って消火しましょう

素手で触るのはやめよう!  
119番通報は安全な場所から通報しよう!

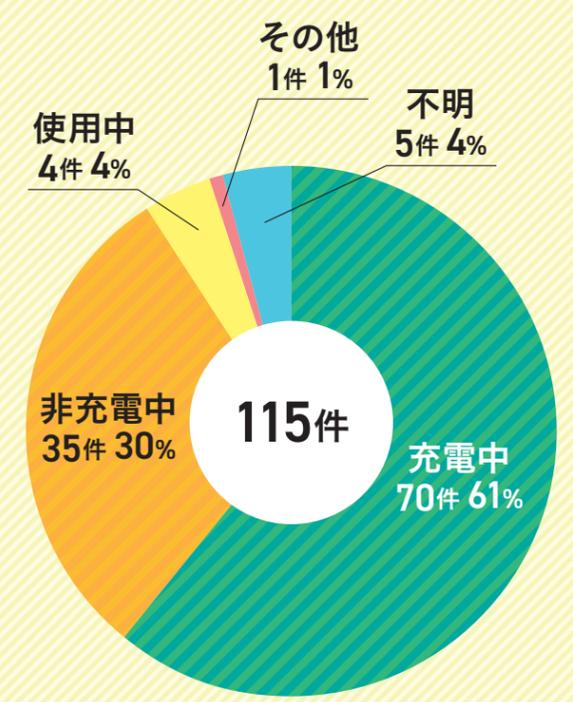
## 誤った廃棄方法でも火災が...!

不要品を処分する際は製品の取扱い説明書をよく確認した上で、お住まいの自治体の廃棄方法に従い廃棄してください。

可燃ごみ回収中に、ごみ袋から煙!!

ごみ袋からバッテリーが!?

## 住宅火災における出火時の状況内訳 (令和6年中)



●充電中の製品使用状況内訳 (70件中)	
製品の欠陥 (リコール含む)	15件
充電方法誤り (正規品以外で充電など)	8件
通常に使用して出火	6件
外部衝撃 (落下)	3件
使用方法誤り (非純正品バッテリー使用など)	1件
分解・廃棄・バッテリー交換	1件
その他	10件
不明	26件

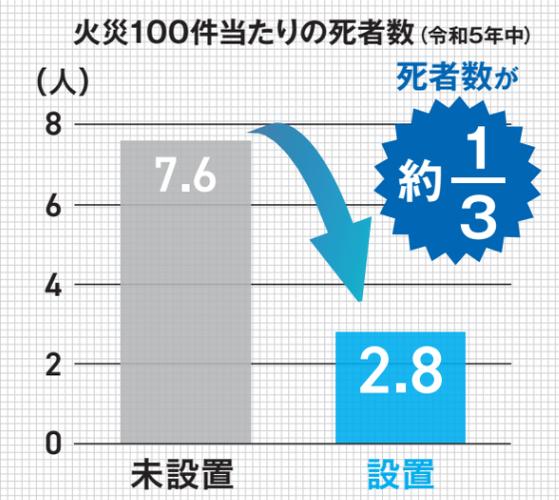
  

●非充電中の製品使用状況内訳 (35件中)	
分解・廃棄・バッテリー交換	9件
外部衝撃 (落下)	6件
使用方法誤り (非純正品バッテリー使用など)	2件
製品の欠陥 (リコール含む)	1件
通常に使用して出火	1件
その他	5件
不明	11件

※グラフの小数点にあっては四捨五入しているため、個々の数値の和が100%とならないことがあります。

## 10年交換! 住宅用火災警報器

火災を知らせる警報器が設置されている場合は、**死者数が約3分の1**に抑えられています。



**設置後10年を目安に交換しましょう!**